

From ; 西村剛

私も「損をした一人の個人投資家」だった

今、私はそれを強く実感しています。あれは、5年前の話です。ときは2008年、あのリーマン・ショックが起きた年でした。私は、ご承知の通り、証券アナリスト兼ファンドマネジャーです。言わば、金融のプロです。しかし、あのリーマン・ショックの波にのまれて、私も「損をした一人の個人投資家」だったのです。正直、私はプロですので、それなりに、どのような相場でも乗り切る自信がありました。もしくは、あえて言うなら、「プロとして何が何でも乗り切る自信」はあったのです。しかし、その自信も、あのリーマン・ショックの前には、もろくも崩れ去ったのです…。

5年間の私は、足で稼ぐ、ファンドマネジャーでした。いえ、もっと言えば、地べたを這いつくばって稼ぐファンドマネジャーでした。おそらく、世間一般が思う、スーツを着て颯爽と歩く、そのようなものでは全くありません。「靴底をどこまで減らして、自分の目で情報を取ってこられるか？」で勝負をしていました。だから、颯爽と歩くなんて、ほど遠いのです。それこそ、年間200社以上の社長と会うことで、その会社のポテンシャルを見抜き、21世紀のトヨタ自動車やソニーのような企業を探し続けていました。その中には、まだ、今ほど名が売れている状態ではなかった三木谷社長などもいました。とにかく、直接あって空気や雰囲気をつかみ、それに加えて、徹底的な数値分析をすることで、急成長する企業を捉え続けたのです。ですから、私には「自信」がありました。

しかし、あのリーマン・ショックは、私の「自信」を破壊しました。それまで、培った私の全てを、一瞬で破壊したのです。一方的に下がる株価。それを見て、もう私の投資法やトレード法は「通用しない」と思ったのです。まさに「敗北」です。私のプロとしてのプライドは、ズタズタにやられました。それこそ、スポーツ選手であれば、「引退勧告」のようなものです。いくらプロでも、相場の世界は非常に厳しく、その引退勧告を回避して、もう一度不死鳥のように舞う人は、ほとんどいません。だからこそ、私も同じく市場から引退勧告を受けて、そのまま消え去るのかと思ったのです。悲しい。悔しい。とにかく、その連続でした。

自分で言うのも何ですが、私は、そのあたりの著名アナリストやファンドマネジャーよりも結果を残す自信が、あ那时的私には十分にありました。靴底の減らし方は、他のファンドマネジャーよりもはるかに多かったので、減らした分だけ、自信がありました。ですが、そのような私の投資方法やトレード法は、相場に「全否定」されたのです。

その後は、葛藤の連続です。このまま相場から全否定された投資法やトレード法をやめ引退勧告を受け入れるのか、わずかながらの可能性に掛け、新しいものを取り入れ、不死鳥のように、もう一度舞うのか選択というよりも葛藤でした。そして、葛藤の末、たどり着いたのが、自分のプロとしてのプライドを壊し、「新しいものを取り入れて、もう一度不死鳥のように舞う」ことでした。私はプライドを捨て、これからの相場で「安定的に成績を上げられる」可能性の高いシステムトレードを取り入れることにしました。

そう決断してからは、日本のシステムトレード界の第1人者である斉藤正章さんを師事しました。実は、ここにも私の葛藤がありました。私も元々は、教える立場です。それが、リーマン・ショックをきっかけに、教えられる立場に変わってしまったのです。しかも、斉藤正章さんは、元々私の教え子です。それが、一気に立場が逆転してしまったのです。やはり、結果はともかく、私もプロとしての意地がありますので、これは、想像よりも精神的にはなかなか割り切りのいかないものでした。しかし、それができなければ、私は「引退」いえ、「退場」です。

ですが、私には「相場から、絶対に引退勧告を受けたくない」という気持ちがありました。私は株が好きです。儲けるのも重要ですが、純粋に「株」が好きです。だからこそ、離れたくなかった。だからこそ、プライドを捨て斉藤正章さんを師事したのです。

そして、今こう思うのです。「私の決断は正しかった」と。私は5年もの歳月をかけ、システムトレードをマスターしました。今は、システムトレードと従来私が得意としていた投資法やトレード法を組み合わせることで、新しいスタイルのトレード法を作ることができました。加えて、今では私のもとでシステムトレーダーの卵たちが一生懸命に、システムトレードの修行をしています。

もし、5年前に、葛藤に負け、プライドを捨て切れていなければ。そう思うと、恐ろしい話です。きっと、今の私は存在せず、相場から離れていたでしょう。もちろん、今は平然と各種メディアで執筆等していますが、そのような機会は全くなかったでしょう。はたまた、『夕刊フジ』の「株-1 グランプリ グランドチャンピオン大会」で、2年連続で優勝を飾ることもできなかったでしょう。しかし、たった一つの決断をただだけで、ここまで人生が変わってしまったのです。

システムトレードは、今の時点では唯一とも言える、「長期に渡り安定的に利益を上げられる」方法です。私も金融のプロとして、数々の方法を見てきましたが、才能や経験に関係なく、誰でも習得し結果が残せるのが、この方法だと確信しています。

実際に私の元で日々学習を続けているメンバーから、どのような相場でも安定的に利益を

上げられる一流のシステムトレーダーが何名も誕生しています。私は、こう言いたいのです。

「あなたの決断は、最高の決断である」と。今の相場は、かつての右肩上がりの時代とは違うので、株を持っていれば利益が上がる時代ではなくなりました。また、将来のトヨタ自動車のような企業を発掘しようとしても、なかなか難しい時代に突入しました。言うなれば、「投資」では利益を上げにくくなったのです。これからは、本気で利益を上げようとするのであれば、投資ではなく、トレードの時代です。そして、このトレードは、カンに頼ったものでは成功しません。カンに頼ったままでは、日々のニュースや株価に追われ、右往左往するだけです。

しかし、あなたは違います。あなたは、すでにシステムトレーダーを志し、日々勉強を続けています。だから、これまでのように「どこに投資しよう？」と血眼になって投資先やトレード先を探すことや、「株価が上がった！下がった・・・」と一喜一憂することはなくなるでしょう。これからは日々の株価やニュースに追われることはありません。しっかりと過去の株価データを使って、あなた独自の売買ルールを作成すれば、それはなくなるのです。売買ルールに基づいたシグナルを毎日確認して、発注するだけで良いのです。これまでの投資法やトレード法と全く違うので、受け入れるのに大変かもしれません。ですが、これを受け入れれば、あなたの成功は約束されているのです。あなたは、もう周囲のトレーダーとは全く違います。

すでに、あなたの片足は、トレードの成功に踏み入れました。あとは、私たちがお伝えする情報を、日々サボることなく実践するだけです。そうすれば、あなたは成功へ一直線で進みます。成功は、もう目の前です。私と一緒にがんばりましょう！

西村剛

追伸：

私の「恥ずかしい過去」を赤裸々書きつづりました。

ただ、賢明な判断のできるあなたであれば、
私のような過去がないことは分かっています、、、

だから、あなたはコレがなくても「トレードの成功」を手に入れられるので
決して、困ることはないでしょう。



<http://www.sys-tatsu.com/r/5YUP40>

追々伸：

もう一つ、言い忘れていたことがありました。
この講座には、私の無料コンサルティングも含まれます。

私があなただの専属コンサルタントとなって、
あなたがしっかりと成功を手に入れられるように、
売買ルールの基礎と改良方法をお教えします。

[詳細はコチラ](#)です。